

函教生
令和5年（2023年）8月21日

報道機関各位

函館市教育委員会
生涯学習部生涯学習文化課長

第33回函館市青少年芸術教育奨励事業「席書大会」の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、取材および報道方宜しくお願い申し上げます。

記

1 席書大会

(1) 日 時 9月3日（日）児童生徒受付開始：午前9時

(2) 会 場 函館市亀田交流プラザ

(3) 進行予定

・開会式 9時30分～

・席 書 9時45分～11時15分頃

※閉会式は行いません。

※出場者には後日結果をお知らせしますので、席書大会当日は結果発表いたしません。

2 参加者数(予定) 39名（小学生13名、中学生13名、高校生13名）

3 受賞者数(予定) 金賞3名、銀賞3名、銅賞3名、入選10名、佳作20名

4 その他 実施要項および募集要項（別紙）

5 問い合わせ先 函館市教育委員会生涯学習部生涯学習文化課
21-3445（担当：遠峯・石橋）

函館市青少年芸術教育奨励事業の実施要項

1 趣 旨

わたくしたちの郷土函館の未来を担う青少年が視野を広め、豊かな人間性や社会性を養い、心身ともに健やかに成長することは、函館市民すべての願いである。

とりわけ、いち早く西洋の文明を受け入れ、新しい伝統と個性豊かな文化を創り出してきた歴史をもつ函館においては、従来から青少年の豊かな感性や情動をはぐくむことに対して極めて高い関心が寄せられ、学校教育においても、多くの機会を活用して青少年の文化芸術への関心の高揚とその資質の向上を図ってきたところである。

こうした中で、創意と潤いのある個性豊かな芸術活動の一層の振興を図るため、青少年の優れた作品等の発表の機会として、青少年芸術教育奨励事業を実施するものである。

なお、この事業に参加した優れた青少年に対して、「函館市青少年芸術教育奨励賞」を授与するとともに、今後の芸術活動に資するものである賞品を贈呈する。

2 主 催

函館市、函館市教育委員会

3 共 催

(公財)函館市文化・スポーツ振興財団

4 事業内容

学校教育では、児童生徒が社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指した教育活動が展開されており、とりわけ、児童生徒の主体的、創造的な学習活動を通して豊かな感性を培うことが求められている。

こうしたことから、青少年の文化芸術活動の一層の振興を図るため、学校教育の指導内容として取り上げている分野を部門として、次の事業を実施する。

芸術活動事業

- ① 文学部門……小説、随筆、詩などの作品を公募し、優れた作品を選定して「函館市青少年芸術教育奨励事業 文学部門優秀作品集」にまとめ、発表する。
- ② 美術部門……絵画、彫刻などの作品を公募し、優れた作品を選定して、「函館市児童生徒書・美術展」を開催する。
- ③ 書 部門……書の作品を公募し、優れた作品を選定し、「函館市児童生徒書・美術展」を開催する。
- ④ 音楽部門……個人を対象とした公募をもって、「函館市児童生徒音楽コンクール」を開催する。

5 表彰

文学、美術、書、音楽の4部門それぞれの入賞者に「函館市青少年芸術教育奨励賞」を授与し、その作品、演奏等を市民に発表する機会を設ける。

〈「函館市青少年芸術教育奨励賞」の内訳〉（上限）

① 特別賞（金賞・銀賞・銅賞）

文学 9名（小学生3名・中学生3名・高校生3名）

美術 9名（小学生3名・中学生3名・高校生3名）

書 9名（小学生3名・中学生3名・高校生3名）

音楽 9名（小学生3名・中学生3名・高校生3名）

※ 校種毎に「金賞1名、銀賞1名、銅賞1名」の授与を原則とするが、賞品の予算内であれば、これに限らない。

② 入選 文学 10名・美術 10名・書 10名・音楽 若干名

③ 佳作 文学 20名・美術 20名・書 20名・音楽 若干名（※1）

※1 音楽は奨励賞

※ 特別賞受賞者には賞状と副賞および賞品を授与し、入選および佳作受賞者には賞状と副賞を授与する。

6 対象者

函館市内在住、もしくは函館市に所在する学校へ通学する小学生・中学生・高校生

7 募集要項

別添

8 組織及び構成

（1）組織

① 企画推進委員会

事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議し、その結果を教育長に報告する。

② 審査委員会

審査基準を策定するとともに、各部門の入賞者について審査し決定する。

③ 事業推進委員会

事業の具体的な内容を検討するとともに、募集要項をはじめ作品展、発表会等の開催計画を策定し、運営にあたる。

(2) 構成

① 事務局

- ・教育委員会におき、生涯学習文化課が総括する。

② 企画推進委員会

- ・小学校長会、中学校長会、高等学校校長協会道南支部、P T A 連合会、文化団体協議会からそれぞれの代表 1 名、計 5 名で構成する。
- ・委員長および副委員長を互選により定める。

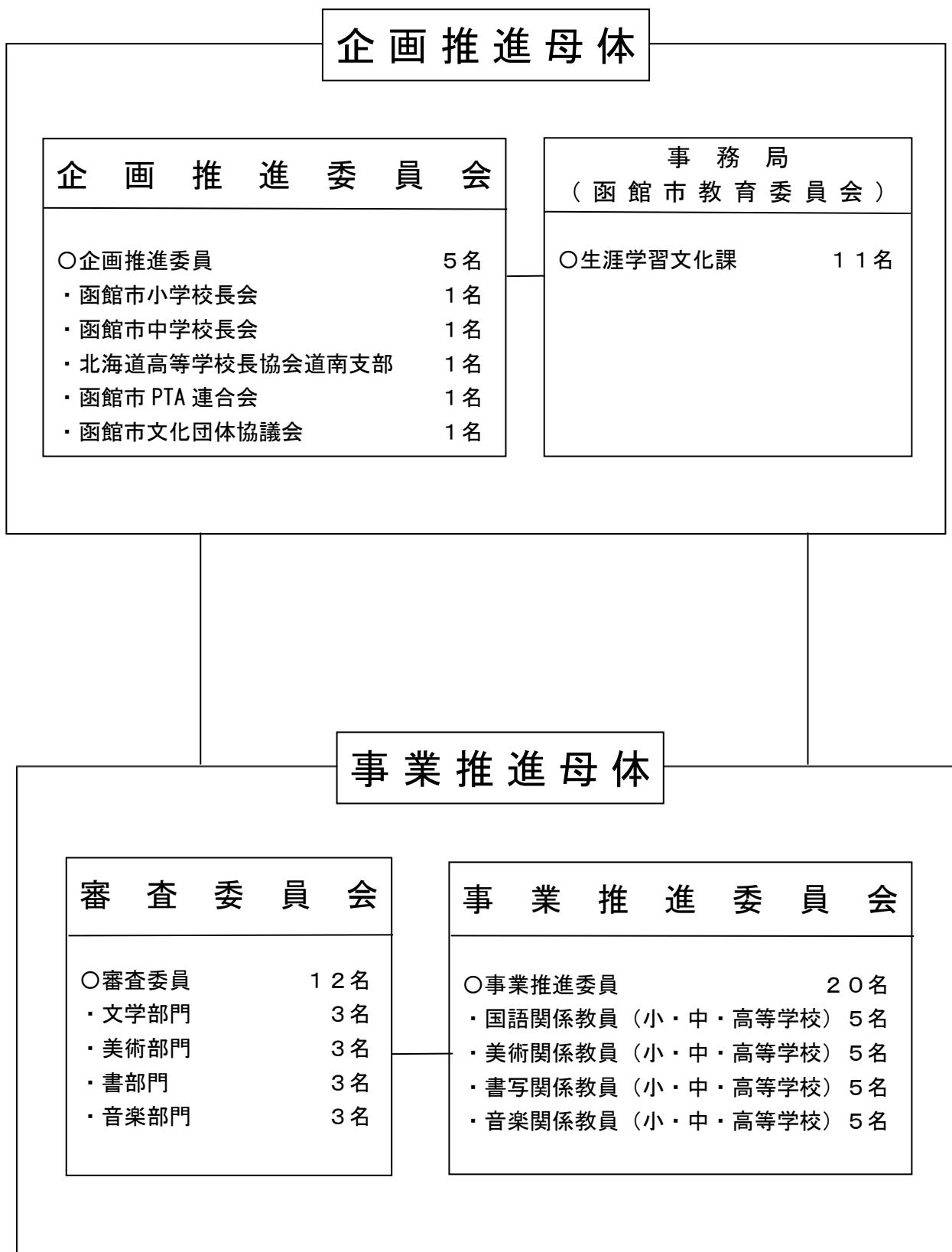
③ 審査委員会

- ・各部門 3 名、計 12 名の審査委員をおく。
- ・各部門の委員のうち 1 名を審査委員長とする。

④ 事業推進委員会

- ・函館市の教育研究会(国語、美術、書写、音楽)の教員(小・中・高等学校)で構成する。
- ・各部門 5 名、計 20 名の委員をおく。

(3) 組織図



第33回 函館市青少年芸術教育奨励事業

書作品募集要項

1 主催

函館市、函館市教育委員会

2 共催

公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

3 対象者

函館市内に在住、もしくは函館市に所在する学校へ通学する小学生・中学生および高校生

4 応募規定

(1) 参加資格

小学生は、保護者等の付き添いなく、席書での作品制作が可能な方に限ります。

(2) 用紙と字数

半紙（罫線の入ったものは使用不可）、2文字以上

(3) 課題語句

小学生：自由

中学生：教科書で取り上げられている作品や参考例、または碑・法帖などの臨書作品

高校生：碑・法帖などの臨書作品

※臨書…古典・法帖などを観て書かれたもの

(4) 出品点数

1人1点

(5) その他

・作品の右上に、必ず「学校名のゴム印」を押印してください。

・応募の際は、学校単位でまとめた「書作品出品一覧表」に「応募票」を添付し、別にまとめた作品と共に提出してください。（作品は汚れないように梱包してください。）

・応募作品は返却いたしません。

・主催者は作品集の作成等、教育委員会が必要と認める場合は、入賞作品を使用できるものとし、応募者はこれを承諾したものとみなします。

5 応募期間

令和5年6月26日（月）～6月30日（金）8：45～17：30

6 応募方法

持参または郵送（市立学校は連絡便での提出も可）6月30日（金）必着

7 応募先

函館市教育委員会生涯学習文化課 ☎040-8666 函館市東雲町4番13号

8 審査期日

(1) 1次審査（予選）

出品された作品で行う。

(2) 本審査（席書大会）

下記日程で行う。（1次審査通過者による席書で作品を制作）

ア 日時

令和5年9月3日（日）9：00～11：30（予定）

イ 会場

函館市亀田交流プラザ

ウ 作品のサイズ・用紙

半切（約35×135cm）または全紙1／2（約69×68cm）

エ 課題語句

本審査（席書大会）案内時に別途、通知します。

小学生：3～5字（書体は自由）

中学生・高校生：臨書または創作

※持参した手本や参考作品（自分で書いたもの等）を置いて書くことは認めません。

※臨書は課題語句のコピー（拡大コピーは不可）持参は可。

オ 各自分で用意するもの

筆、墨液、墨入れ（大きめの容器）、もうせん（半切用または全紙用。罫線入りのものは使用不可）、ぶんちん、新聞紙

カ その他注意事項

・出欠確認のため、当日連絡のとれる連絡先を聞き取りします。

・遅刻した場合、その時点からの参加とし、終了時刻の変更はしません。

9 賞（上限）

・特別賞（金賞・銀賞・銅賞）：9名（小学生3名・中学生3名・高校生3名）

金賞：賞状・副賞およびギフトカード3万円分の贈呈

銀賞：賞状・副賞およびギフトカード1万円分の贈呈

銅賞：賞状・副賞およびギフトカード5千円分の贈呈

・入選：10名（賞状、副賞を授与）

・佳作：20名（賞状、副賞を授与）

※結果は審査終了後に後日通知します。

10 作品展の開催 「函館市青少年芸術教育奨励事業 児童生徒書・美術展」

（1）日時

令和5年10月14日（土）～10月16日（月）

（2）会場

函館市芸術ホール ギャラリー（入賞作品返却：最終日に会場にて実施）

11 作品集の発行

金賞、銀賞、銅賞の作品は、作品集「若い芽」にまとめて刊行します。